

平成26年度事業報告書

(平成26年1月1日から平成26年12月31日まで)

特定非営利活動法人 エコロジーオンライン

1 事業の成果

本年は、各事業において、下記のような成果を残す事ができました。

(1) インターネットでの環境保全情報の提供事業

情報発信の新しいメニューとして「EOLの部活」を整備。イベントなどの展開とウェブでの情報発信が連動できる体制をつくりました。

(2) 「環境保全型企业・団体の育成事業」

①地球温暖化防止を手がけるNPO法人そらべあ基金の寄付事業を実施しました。

②小さな太陽光発電セット「ナノ発電所」を通して、資源エネルギー庁のグリーンパワープロジェクトと連携が始まり、地域の再生可能エネルギーを手がける団体の支援が始まりました。

③間伐材のカップを通して森づくりに貢献するアペックスの普及啓発の支援を行いました。

④NPO法人チルドリンの森づくり企画を応援し、林野庁や企業のネットワーク化を実施しました。

(3) 自然とのふれ合いを通じた健康増進支援事業

佐野市富士町で里山地域の整備が始まり、里山での自然体験を提供し始めるとともに、27年度に予定するイベントの打ち合わせが始まりました。

(4) 持続可能な社会づくりのための教育事業

持続可能な社会をつくる教育（ESD）の環境省の補助事業を協働で実施。群馬で数回にわたって太陽エネルギーを学ぶワークショップを実施しました。このプログラムは環境省によって全国プログラムとして選定されました。

(5) 持続可能なエネルギー社会づくりのための啓発事業

電力の自由化が実施される2016年に向け、地球温暖化をもたらさない電力が選ばれる社会をつくるための講演会、情報発信、グリーン電力事業者の支援を手がけました。

(6) 芸術活動を通じたまちづくり事業

音楽を通して福島復興を手がける「エコふくしま音楽と未来」の活動をサポートしました。福島県内で実施されるイベントへのアーティストの派遣や、再生可能エネルギーのサポートなどを実施しました。

(7) 途上国における環境改善事業

国連環境計画とともにケニアの施設にナノ発電所を寄付。東アフリカでの持続可能なコミュニティの創生について連携の話し合いが始まりました。

(8) 里山環境の保全事業

佐野市富士町の唐沢山のふもとに広がる里地・里山エリアで、佐野市と森林所有者とともに、里山整備事業を始めました。人と動物との間に緩衝地帯を設け、獣害対策を実施しています。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
インターネットでの環境保全情報の提供事業	情報発信整備事業	通年継続	インターネット	5名	全国民	0
環境保全型企业・団体の育成事業	① そらべあ基金寄付事業	通年継続	全国	2名	国民全般	578
	② ナノ発電所普及事業	通年継続	全国	4名	国民全般	4,112
	③ 間伐材カップ支援事業	通年継続	全国	3名	森づくり関係者	0
	④ チルドリン支援事業	7月～	東京 大阪	3名	ママ、子ども全般	0
自然とのふれ合いを通じた健康増進支援事業	里山での自然体験の提供	通年継続	佐野市	5名	佐野市民	0
持続可能な社会づくりのための教育事業	持続可能な社会をつくるためのプログラムづくり事業	1月18、26日	群馬県 高山村 太田市	3名	イベントに参加した子どもたち 20名、大人20名	0
持続可能なエネルギー社会づくりのための啓発事業	電力の自由化に向けた再生可能エネルギー支援事業	通年継続	全国	3名	国民全般	0
芸術活動を通じたまちづくり事業	エコふくしま音楽と未来支援事業	通年継続	東京 福島 栃木	3名	福島で活動するインディーズアーティストと福島県民全般	0
途上国における環境改善事業	途上国での再生可能エネルギー支援事業	通年継続	アフリカ諸国	5名	ケニアの孤児院の子どもたち 30名前後	0
里山環境の保全事業	佐野市富士町での里地・里山保全事業	通年継続	佐野市	5名	佐野を中心とする栃木県民 30名前後	113

(2) その他の事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	支出額(千円)
環境保全活動に係わる製作物の作成・販売	ホームページ・パンフ等の製作事業	通年継続	東京	6名	3,225
環境保全活動に係わるコンサルティング事業	間伐材を活用したカップの普及事業	通年継続	全国	5名	3,544
環境保全に係わる雑貨の企画・販売事業	実施なし				
環境保全に係わるイベントの企画・実施事業	実施なし				
グリーン電力のコンサルティング事業	実施なし				